



市議会だより

みやま^んギカイ

No.75 令和7(2025)年11月1日発行 令和7年8月臨時会・9月定例会の内容などをお伝えします。

農家

猿渡知佳さん
さるわたり ちか
ハウティスタジオ
アンカールパルドさん

ご家族

CONTENTS

- P2～3 8月臨時会の概要等
- P4～5 9月定例会の概要等
- P6～7 決算審査特別委員会報告
- P8～12 一般質問
- P13～14 委員会の報告
- P15 表紙のひとなど
- P16 聞かせて!あなたの夢



議会の体制が変わりました

臨時第1回市議会

詳しくはこちら↓



会期 8月1日(1日間)

8月1日に開催された臨時第1回市議会で、副議長の選挙を行いました。各委員会の構成も変わりましたのでお知らせします。

また、財産の取得についてなど議案2件を審議し、可決しました。



副議長 中島 一博



議長 牛嶋 利三

総務常任委員会

担当

- 総務部
- 企画部
- 市民部
- 消防本部
- 選挙管理委員会
- 監査委員
- その他



(写真前列左から)

委員長 奥園 由美子

副委員長 黒田 清隆

(写真後列左から)

委員 瀨口 健

上津原 博

三小田 智裕

文教厚生常任委員会

担当

- 保健福祉部
- 教育委員会



(写真前列左から)

委員長 中尾 眞智子

副委員長 諸富 正也

(写真後列左から)

委員 前原 武美

森 弘子

吉原 政宏

産業建設常任委員会

担当

- 環境経済部
- 建設都市部
- 農業委員会

(写真前列左から)

委員長 河野 一仁

副委員長 古賀 義教

(写真後列左から)

委員 中島 一博

宮本 五市

荒巻 隆伸



議会運営委員会

議会をスムーズに運営するため、日程や進行手順など議会運営に関するルールについて話し合います。

委員長 吉原 政宏

副委員長 三小田 智裕

委員 河野 一仁 奥園 由美子

古賀 義教 中尾 眞智子

議会報編集特別委員会

年に4回、定例会の翌々月1日に議会だよりを発行しています。定例会等の報告や議会活動についてお知らせしています。

委員長 古賀 義教

副委員長 森 弘子

委員 諸富 正也 三小田 智裕

黒田 清隆 河野 一仁

タブレット活用特別委員会

議会運営の効率化、ペーパーレス化を進めるため導入した、タブレット端末・会議システムの活用について話し合います。

委員長 奥園 由美子

副委員長 荒巻 隆伸

委員 諸富 正也 黒田 清隆

森 弘子 中島 一博

議会改革調査特別委員会

議会の組織、運営等に係る調査研究をします。

委員長 中島 一博

副委員長 吉原 政宏

委員 議長を除く13名

監査委員

監査委員には、議会から荒巻 隆伸議員を選出しています。

議案

財産の取得について

指定避難所（27か所）資機材を追加購入するものです。

・避難所用簡易組立トイレ 7台

・避難所用間仕切りテント 909張

・折りたたみ式簡易ベッド 469台

・緊急災害用大型炊き出し器 2台

【取得価格】 2955万4千580円

一般会計補正予算

本市を被告として提訴された損害賠償請求事件について、業務を弁護士に委任するための訴訟代理人委託料。

【訴訟着手金】 132万円

【日当・その他】 19万2千円

こんなことが決まりました

—— 定例第3回市議会で決まったことから主なものをとりあげます。 ——

定例第3回市議会

詳しくはこちら↓



会期 9月2日～9月19日(18日間)

定例第3回市議会では、令和7年度一般会計補正予算など議案8件、令和6年度一般会計歳入歳出決算など認定7件、報告6件を審議し、全て可決、認定しました。

また、柳川みやま土木組合及び有明生活環境施設組合の議会議員補欠選挙を行いました。

◆ 令和7年度 補正予算 ◆

一般会計

4億5526万8千円を追加し

総額239億1456万1千円

一般会計補正予算の財源

○国庫支出金	4342万7千円
○県支出金	△77万7千円
○寄附金	100万円
○繰越金	3億2981万8千円
○市債	8180万円

特別会計

介護保険事業

3579万6千円を追加し

総額52億946万5千円

一般会計補正予算 歳出の主なもの

財政調整基金積立金

3億2000万円

財政調整基金条例に基づき、財政調整基金(市の貯金)に追加で積立てするものです。

※財政調整基金：将来にわたる市財政の健全な運営のため積み立てておく資金

道路新設改良工事費 4800万円

JR瀬高駅東側の坂田・竹飯線について、当初予定していた工事施工箇所を変更し、橋りょう取付工事等を行うため、道路新設改良工事費を追加補正するものです。

非常備施設整備費 650万円

消防団山川南部分団格納庫の新設計画に伴い、格納庫建築設計業務を委託するものです。

物価高騰におけるみやま市支援策

プレミアム付き商品券事業 2500万円

物価高騰の影響を受けている市民や事業者の負担軽減を図り、地域経済の回復・活性化を支援するため、市内限定のプレミアム付きデジタル商品券を追加発行するものです。

飲食店等支援事業

1120万円

①「結まわるチケット」発行

物価高騰の影響を受けている市内飲食店において、年末年始の個人消費を喚起し、地域経済の回復・活性化を支援するため、デジタル地域通貨「みやまん・コイン」を活用したプレミアム付きチケット「結まわるチケット」を総額2250万円分発行するものです。

②「結まわるチケット（バルさるき）」

結まわるチケットの使用期間中に「みやまバルさるき2025」イベントを開催し、更なる個人消費の喚起を促すとともに、市内飲食店の周知・周遊を図るため、「結まわるチケット」を「バルさるき」参加店舗で使用すると1店舗につきスタンプ1つを取得、スタンプが3つたまると1000円分の電子チケットが付与されるものです。

宅配ボックス設置補助事業 400万円

物価高騰の影響を受けている宅配事業者の再配達抑制や物流における温室効果ガス排出量の削減を図るため、宅配ボックスの購入を補助するものです。



みやま市
マスコットキャラクター

くまっぴー

※支援策について

詳細はこちらからご確認ください。↓



条例制定の主なもの

みやま市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定

火入れ行為の届出等に関し、条文の文言修正及び規則において規定すべき事項の整理を行うため、条例を改正するものです。「異常乾燥注意報」の文言については、「乾燥注意報」に改めます。

定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結

定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を大牟田市と締結するにあたり、議会の議決が求められ、可決しました。
産業振興における雇用の促進、ワンヘルスの理解増進や圏域全体での取り組みなどについて新たな事項を追加しています。

一部事務組合議員選出

補欠選挙により、柳川みやま土木組合議会議員に、三小田智裕議員、上津原博議員を、有明生活環境施設組合議会議員に諸富正也議員、宮本五市議員を選出しました。

一部事務組合：複数の市町村等の地方公共団体が、事務や行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織です。その議決機関として議会が置かれます。

※すべての議案名と審議結果は、市ホームページをご覧ください。



税金の使い道を確認しました

決算審査 特別委員会

決算審査特別委員会に付託された案件は、令和6年度一般会計決算・各特別会計決算・水道事業剰余金の処分及び決算・下水道事業決算の全7件です。

9月2日・3日・9日・18日に14名の議員で構成する決算審査特別委員会と、11日・12日・16日には各常任委員会で開催する分科会を開催しました。

予算の執行状況や行政効果など、当該年度限りではなく将来の展望に立った総合的な審査を行いました。

令和6年度 一般会計 決算状況

歳入決算額	221億3千294万7千円 (前年比0.4%減)
歳出決算額	214億5千875万2千円 (前年比0.3%減)
翌年度繰越財源	4千247万3千円
実質収支額	6億3千172万2千円 (前年比18.4%増)

令和6年度 各会計決算状況

		歳入(収入)	歳出(支出)	収支の差額
特別会計	国民健康保険事業	53億8536万円	51億4112万円	2億4423万円
	後期高齢者医療	7億9972万円	7億9589万円	383万円
	介護保険事業 ・ 介護保険事業勘定 ・ 介護サービス事業勘定	52億1158万円 2732万円	49億7716万円 1800万円	2億3441万円 932万円
	用地	8万円	0円	8万円
	合計	114億2409万円	109億3219万円	4億9189万円
一般会計及び特別会計 合計		335億5703万円	323億9094万円	※11億2361万円
水道事業会計	・ 収益的収支	5億3209万円	4億7881万円	5327万円
	・ 資本的収支	2億2313万円	5億3354万円	△3億1041万円
下水道事業会計	・ 収益的収支	7億1600万円	6億9354万円	2246万円
	・ 資本的収支	5億943万円	6億3359万円	△1億2416万円

※は翌年度繰越財源を差し引いています。また全体として千円以下切り捨てで計算しているため合計の金額は一致しない所もあります。

議会からの指摘事項

全体的事項

- 決算の状況及び決算審査特別委員会の指摘事項を踏まえ、適正な予算編成に努めること

- 予算編成に関しては、支出の積算を厳格に行い、予算の執行に当たっては、引き続き最小の経費で最大の効果が得られるよう努力すること

一般会計

◆歳入について

- 税の徴収については、今後も不公平が生じないよう積極的な取り組みを続けること

◆歳出について

【企画】

- 公共交通対策については、市民の負託に応えるべく、効果的・効果的な改善を図り、利便性の向上に努めること。なお、コミュニティバスについては、市民の意見を聞きながら、慎重に検討すること

- 移住定住施策については一定の効果がみられるが、広く制度の周知を図るため、更なる情報発信に努めること

【市民】

- マイナンバーカードについては、市民への啓発と更なる普及促進に努めること



マイナンバーカードの普及促進を

【保健・福祉】

- 社会福祉協議会への補助金については、別の委託事業等との重複支払いがないか精査すること

- 高齢者の運転による交通事故の防止及び被害の軽減を支援

- するため、高齢者の後付安全運転支援装置補助金について、市民への普及啓発を図ること

- 子育て世帯の見守りと、経済的負担軽減のため、おむつお届け事業の更なる充実を図ること

【教育】

- 中学校の35人学級を始め、学校内で必要とされる専門的な教職員等の確保に努めること

- 給食費に対する保護者の負担軽減に努めること

【環境衛生】

- 塵芥処理については、契約方法等に十分注意を払い、適正な契約手続きを行うこと

- バイオマスセンターの維持管理について、経費の節減に向けた取組みを行うこと

【農林水産】

- 有害鳥獣による農作物被害防

止のため、効果的な対策を講じる



生活圏をうろつくイノシシ

【都市計画】

- 空家対策については、市民の安全のため、特に倒壊の恐れがある危険な空家に対する措置を、早急に調査研究し実施すること

以上、決算審査特別委員会として、令和6年度一般会計決算・各特別会計決算・水道事業剰余金の処分及び決算・下水道事業決算の7件はいずれも原案可決及び認定すべきものと決定しました。



ここが聞きたい！

一般質問

一般質問って・・・？

市議会議員が市に対し、市政についての疑問点を質問し答弁を求め、政策的提言等を行うものです。



市民目線での住民窓口改善を

答弁／「書かない窓口」を検討



吉原政宏 議員



問 「市民目線に立った住民窓口サービス」を向上させるための今後の取組みは。

答 マイナンバーカードや運転免許証などから氏名・住所等を読み取り、その後、職員がシステムを用いて手続きに必要な事項を来庁者に確認しながら申請・手続きを進める「書かない窓口」の導入を検討している。これにより、来庁者の記入にかかる負担が大きく軽減される。

問 「書かない窓口」の導入にはどのような課題があるのか。

答 座って対応できるローカウンターへの変更が必要だが、そのためのスペース確保が大きな課題である。

問 本庁の住民窓口は、①通路や待合スペースが狭い ②座って対応できるカウンターが少なく、高

齢者や障がい者等に優しい造りではない ③待合スペースとカウンターの距離が近くプライバシーの確保が十分でない、などの課題がある。「書かない窓口」を導入するためにも早急に改善すべきだが。

答 庁舎内は限られたスペースであるが、市民目線から見た様々な課題が解決できるよう関係部署と協議し、さらなる住民サービスの向上と窓口事務の効率化を目指す。



改善が望まれる本庁2階の住民窓口

まちの活性化について再度問う

答弁／先を見据えて取り組み



三小田智裕 議員



問 現在も未利用地のままとな

っている堀池園団地跡地について、前回の議会でも質問があったが、その後何か協議が行われたか。

答 現段階でまだ協議は行っていない。

問 本郷小学校跡地については協議が行われたか。

答 まだ具体策を検討中であり、協議には至っていない。

問 企業誘致について、誘致が決まった新産業団地以外にも企業の引き合い等があったのか。

答 本市に関心を持つ企業に対し誘致活動を実施し、高田町の国道沿いに古紙卸売業の企業の進出に至った。

問 市内には飲食店を含め商店

が少ないが、行政としての支援は新規出店者に対し、補助

金等の奨励措置を行っている。

問 空き店舗が多くあるが、空き店舗に関する情報を公開し、積極活用を図るべきでは。

答 先進自治体の事例を調査研究しており、現在作業中である。

問 市の情報発信に関し、SNSの有効活用が望まれるが、情報発信が少ないのでは。

答 各所管と協議した上で積極的な活用を目指す。

問 ふるさと納税も伸び悩んでいるが、情報発信が少ないのでは。

答 返礼品の増を目指すし、さらなる情報発信を目指す。



旧堀池園団地跡地

LINE道路損傷通報の活用を

答弁／広く周知を行う



奥蘭由美子 議員



問 道路の異状等を発見した

場合に、直接、道路管理者に通報することができる国土交通省道路緊急ダイヤル（#9910）は、

電話での通報に加え、令和6年3月29日から全国の道路を対象としたLINEによる通報が可能となった。

より安全で安心なまちづくりを進めるために、国のLINE通報は有効だと考えるが、周知と活用について、市の見解は。

答 このシステムを市民の皆様に活用していただくことで、道路の異状が発見された場合には、時間を問わず迅速な通報が可能となり、早期の対応により、安全な状態で道路を通行することができる。

問 筑後市や八女市では既に

市の公式LINEを活用し、道路損傷などの通報システムを導入している。

みやま市でもぜひ導入を。

答 市の公式LINEシステムに組み込むには、構築費用、その後の管理費用が月々発生する。

まずは国のLINE通報について、市の広報紙やホームページ等を活用して広く周知を行い、併せて、職員に対する情報共有体制の強化にも取り組む。



LINEで通報 #9910

※出典…国土交通省ホームページ

文化・芸術・スポーツの まちへ

答弁／豊かな環境を育む まちづくりを行う



黒田清隆 議員



問 ダンスは、高齢者の運動習慣、認知機能の維持など多くの効果がある。健康づくりは、行政全体の財政負担軽減に繋がる。私も参加したみやまつくすのダンス講座は好評だった。今後どのようなイベントを展開するのか。

答 みやまつくす企画運営委員会は、ワークショップ付き参加型イベントの実施を考えている。

問 「音楽は心の薬」。子ども達には豊かな感受性や協調性を育み、高齢者には認知症予防の一助となる。市民に生の音楽会を開催できないか。

答 みやまつくすでは、定期的にロビーコンサートを開催している。オーケストラ、弦楽四重奏など音楽を聴く機会を多く作りたい。教育委員会と連携し進める。

問 映画上映会は、感動や気づ

きを与え、共感を呼ぶ力がある。定期的に設け、トークイベントなどを開催できないか。

答 市内の各図書館での映画上映会をさらに充実する。ご提案は、企画運営委員会に伝える。

問 健康・音楽・映画の要素は、交流人口、関係人口の拡大に繋がる。「心と体を元気にする文化・芸術・スポーツのまちみやま市」を提案する。

答 市民が文化・芸術・スポーツに触れる機会を創出し、豊かな環境を育むまちづくりを行う。



心と体を元気にするまちへ

持続可能な農業・漁業を

答弁／支援に努め、振興を図る



河野一仁 議員



問 近年の異常気象などにより海苔の不作が報じられているが、課題解決に向けての取り組みは。

答 国・県により覆砂事業、二枚貝の増養殖事業を実施しており、加えて本年度より有明海再生加速化対策交付金を設け、漁場の環境改善・漁業経営改善等の支援を行っている。

本市としては、燃油の一部の補助事業、漁港や河川への漂着物の回収作業などを行っている。

問 農業は本市の基幹産業である。昨今の資材高騰や温暖化等により依然厳しい状況だが、対策は。

答 土地利用型では、水田担い手機械導入支援事業・水田農業DX事業、施設園芸型では活力ある高収益型園芸産地育成事業、中山間地域では果樹経営支援対策事業・農地中間管理機構関連農地整備事業等を活用し、

振興に努めている。

問 水田における土地改良事業から何年経過し、パイプラインの耐用年数と今後の対応は。

答 土地改良事業から約40年、パイプラインの耐用年数は約40年。それらの施設が老朽化してきており、今後の維持管理が課題であると認識している。

引き続き国・県・関係機関と連携し、支援に努め、持続可能な農業の振興を図れるよう取り組んでいく。



漁港の漂着物

障がい者へも配食サービスを

答弁／制度設計を早急に 取り組む



前原武美 議員



問 現在みやま市では、高齢者への配食サービスを実施されている。併せて、障がいを持たれている在宅者の方への配食サービスが必要では。

答 障がいをお持ちの方が、安心して生活を営むことができる支援は、食も含め大変重要な課題である。

問 障がい者の約60%は、自宅で家族の介護を受けながら生活されている。

答 しかも、介護者も80代から90代と高齢の親が「老障介護」されている状況である。

そのような家庭に、日常生活支援や、特に食の配食サービスが必要となっているが。

答 趣旨を重く受け止め、先進自治体の取組を収集し、課題の整理を行う。



栄養管理された配食サービス

問 必要な事を認識しているなら、早急に行うべきではないか。

答 実施に向け、制度設計を早急に取り組む。

問 このような問題は、市民からの声でなく、行政自らが率先して対応すべきでは。

答 今後、気配り・目配り・心遣いをしながら、問題に取り組んでいく。

近隣市に先駆け行政代執行を

答弁／助言・指導・勧告等 を含め検討



中島一博 議員



問 「特定空き家」とは、倒壊の危険性がある建物や衛生的に問題のある建物、著しく景観を損なう建物といった要件に当てはまる空き家の事。「特定空き家」に認定された空き家は、行政代執行の対象となるので、近隣市に先駆けて行政代執行をすべきだと思うが。

答 立ち入り調査や助言・指導・勧告などの措置を含め検討する。

問 空き家の所有者に適正管理をお願いしている件数は何件あるのか。

答 空き家の状況について、令和5年度は1055件で、平成30年度から101件減少している。昨年度までに補助金を活用して解体した件数は328件である。

問 適正な維持管理改善への相談件数は、令和2年度から今年8

月まで97件で、そのうち改善されたのは48件である。



国道沿いの危険な空き家

問 高齢者の一人暮らしが多いなか、今後空き家が増加すると思うが、空き家バンクのリフォームに対する現況を伺う。

答 高齢者の単身世帯の方などに、空き家の無料相談会である「空き家セミナー」を年4回実施している。市のホームページや広報などで周知を図っている。

3施設の現状と課題は

答弁／当面は、利用を継続する



森弘子 議員



問 市総合市民センター、まい

ピア高田、山川市民センターの3施設を維持管理することの課題は。

答 人口減や財源などの課題

を抱えており、老朽化した施設を維持管理していくことは、大きな課題である。しかし、当面は、安全面を確保しながら、維持管理し、利用を継続していきたい。

適応指導教室「さくら」をもっと利用しやすいように

問 「さくら」に通室したいが、

交通手段がないため、あきらめなければならぬ現状がある。そこで、10月から実証実験が始まる「予約制乗合タクシー」にて通室できるようにしてほしい。

答 子どもの実態に応じて利用

できるものか担当課と協議して、対象となる児童生徒の保護者へ案内することで、安心して通室でき

る環境の充実に図っていく。

不登校児童生徒の支援体制の核となる、適応指導教室「さくら」の指導体制や施設面の整備を進め、学校復帰に向けた支援、さらには最終的な進路実現を目指す、取組の充実を図っていく。



維持管理費が膨らむであろう3施設

リチウムイオン電池回収は

答弁／利便性が高い方法を研究する



上津原博 議員



問 来年度から改正資源有効

利用促進法に基づき、リチウムイオン電池の回収義務化が施行される。目的は資源の有効活用と発火事故の低減である。

現在のリチウムイオン電池回収の状況は。

答 膨張又は変形したリチウム

蓄電池は回収されていない状況であり、一般廃棄物の処理責任を担っている市町村が適正な処理を実施する必要がある。各行政区の分別収集では回収は行っていない。直接清掃センターでの受け入れを行っている。

問 簡単に排出する環境づくり

ができないか。

答 発火の危険性があり、雨風

等の影響を受けない保管体制や電極部の絶縁処理、消火設備等の課題があり、無人の状態では商業施設等への回収ボックス等の

設置は難しい。

問 リチウムイオン電池使用の製品は増える見込みがあるが、その対応は。

答 リチウム蓄電池の利便性で

使用後の排出物の増加も予想される。不適切な排出は、火災事故等の発生の懸念がある。適正な排出には市民の理解と協力が必要。排出方法に関する周知・啓発の徹底に努め、先進事例を参考に一般廃棄物としての適切な再資源化及び処理を研究していく。



回収義務化されるリチウムイオン電池

委員会報告



総務常任委員会

〔定例会報告〕

9月11日に委員会および決算審査分科会を開催しました。

委員会では、付託された議案3件等について審査しました。

議案「みやま市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、仕事と育児の両立支援制度の利用に関する職員の意向確認等の措置を講ずるため、条例を改正するものです。

議案「みやま市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律が施行されることに伴い、部分休業制度拡充に係る規定を整備するため、条例を改正するものです。

議案「定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締

結について」は、新たな共生ビジョンの策定に当たり協定内容の見直し等を行うものです。

慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、決算審査分科会では、令和6年度一般会計、国民健康保険事業特別会計決算について、所管の審査を行いました。



文教厚生常任委員会

【定例会報告】

9月12日に委員会および決算審査分科会を開催しました。

全議員が参加した内覧会で、前回指摘された安全対策については十分に果たしていくとの報告を受けました。

体育館は8月29日から児童の利用を開始しています。

真新しい体育館では、2年生の児童たちがマットや平均台を使った運動やじゃんけんゲームなど、笑顔で楽しそうに行っていました。

委員会では、一般会計補正予算（第3号）の所管である、学校再編推進事業費の消耗品費、「令和8年4月のみやま中学校開校による校名変更に伴い、部活動公式ユニフォーム及び生徒用名札を購入」を審議しました。また決算審査分科会では、令和6年度一般会計のほか、国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険事業の3特別会計決算について、所管の質疑と指摘事項の取りまとめを行いました。

【所管事務調査】

7月24日、高田小学校体育館建築工事の現地視察を行いました。進捗状況の説明を受け、安全対策について指摘しました。9月10日の



産業建設常任委員会

【定例会報告】

9月16日に委員会および決算審査分科会を開催しました。

議案も、慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会では、付託された議案2件等について審査しました。

また、決算審査分科会では、令和6年度一般会計、下水道事業の決算、水道事業剰余金の処分及び決算の認定について、所管の質疑を行い審査しました。

議案「みやま市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、条例中の文言についての修正及び規則において、規定すべき事項の整理を行うため、条例を改正するものです。

改正の主な内容としては、条例第14条中にあります「異常乾燥注意報」の文言について、現在は「乾燥注意報」に名称変更されていることや、注意報については気象庁が発表するものであることから、条文に所要の改正を行うものです。

その他「みやま市道路線の廃止について」のいずれの



表紙のひと

今回は、オーストラリアよりみやま市高田町に移住されたジアンさんご家族取材させていただきました。みやま市への移住のきっかけを聞くと、「移住先を探していたなかで、一番親身に相談に乗っていただきました。子育て支援にも手厚く、みやま市の叔父の田を手伝うということもあり、みやま市に決めました」と知佳さん。現在の住まいも空き家バンクで購入し、改修も自分たちでされたそうです。

「隣の家とは離れていますが、人と人との距離が近いと感じています。近所の方にもいつも声をかけていただき、安心して子育てできています」と、みやま市の良さも話していただきました。

ジアンさんは、トラクターなどの機械が好きで、ドローンの資格も取得。和食も好きで、その土地ならではの食材があるところに魅力を感じるといいます。



農家 バウティスタ ジアン カール パルドさん

さるわたり ち か
猿渡 知佳さん ご家族



オーストラリアではシェフとして働いていたお二人。そのころから食に関わり、米麦を栽培する叔父の姿を見て、農業に触れる機会が増えるうちに、食の大切さや農業のすばらしさを実感し、興味を持つようになったそうです。

現在はアスパラガスを栽培されていますが、来年からは、祖父から叔父へ、叔父から私達へと引き継がれ三代目となる米麦農家として専念されるそうです。

夢は、今より田を増やし農業を拡大していくこと。「子どもが、農家っていいなあと思える農家になりたいです」と笑顔で話していただきました。

～常任委員会と特別委員会～

委員会は、議会の内部機関です。市議会に提出される議案などは広範囲にわたるため、より専門的・効率的に審査するために委員会を設置しています。

●常任委員会とは？

名前のとおり常設の委員会で、部門ごとに市の事務に関する調査や議案・請願等の審査を行います。みやま市議会では、現在3つの常任委員会を設置しており、議員は必ずいずれかに所属しています。

●特別委員会とは？

特定の問題を調査・研究するために必要に応じて設置する委員会で、目的を達成すれば廃止されます。みやま市議会では、現在3つの特別委員会を設置しています。

各委員会の構成は2・3ページをご覧ください。

聞かせて! あなたの夢



高田中学校 3年
なか お こうへい
中尾 皓平さん

僕の将来

僕の将来の夢は音楽に関する仕事です。僕は何度も音楽というものに救われており、今度は僕が何人もの人の心を音楽で助けたいと思ったからです。出来れば作詞・作曲を行うミュージシャンになりたいと思っています。しかし、これには才能の有無も関わってくるものだと思います。だから、レーベル会社に就いて少しでもいいので音楽と関わっていける人生にしたいです。きっとこれから何度も音楽に助けられると思います。僕の人生が音楽であふれるように頑張りたいです。



- 編集委員**
- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 古賀 義教 |
| 副委員長 | 森 弘子 |
| 委員 | 諸富 正也 |
| 委員 | 三小田 智裕 |
| 委員 | 黒田 清隆 |
| 委員 | 河野 一仁 |

《次回定例会》
12月3日(水)
からの予定です。



インターネットで
中継・録画を配信
市ホームページ「み
やま市議会」のイ
ンターネット中継」か
らご覧ください。

編集委員長 古賀 義教



「みやま市議会」は8月より議会構成が変わりました。
「議会だより」を長く引っ張って来ていただいた2名が卒業され、代わりに議会報編集にぜひ関わりたいと2名の方が加わりました。
市議会だよりは、市議会の活動を市民に周知すると共に、理解と認識を深めていただくことです。新人を含めた全員でさらに読みやすい「議会だより」を目指します。

編集後記

みやま市ホームページアドレス <https://www.city.miyama.lg.jp/>